

JIS

情報検索
(Z39.50) 応用サービス定義
及びプロトコル仕様

JIS X 0806:1999

(ISO 23950:1998)

(2004 確認)

平成 11 年 1 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

JIS X 0806には、次に示す附属書がある。

- 附属書1(規定) OID : Z39.50のオブジェクト識別子
- 附属書2(規定) CTX : 応用コンテキスト基本Z39.50-ac
- 附属書3(規定) ATR : 属性集合
- 附属書4(規定) ERR : 誤り診断
- 附属書5(規定) REC : レコード構文
- 附属書6(規定) RSC : 資源報告書式
- 附属書7(規定) ACC : アクセス制御書式
- 附属書8(規定) EXT : この規格で規定する拡張サービス
- 附属書9(規定) USR : 利用者情報書式
- 附属書10(規定) ESP : 要素指定書式
- 附属書11(規定) VAR : 選択可能形集合
- 附属書12(規定) TAG : タグ集合定義及びスキーマ
- 附属書13(参考) ERS : 拡張検索集合モデル
- 附属書14(参考) RET : Z39.50検索
- 附属書15(参考) PRO : Z39.50プロフィール
- 附属書16(参考) この規格の維持機関

主 務 大 臣 : 通商産業大臣 制定 : 平成 11.1.20

官 報 公 示 : 平成 11.1.20

原案作成協力者 : 財団法人 日本規格協会

審 議 部 会 : 日本工業標準調査会 情報部会 (部会長 棟上 昭男)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報電気規格課 (☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

日本工業規格

JIS

X 0806 : 1999

(ISO 23950 : 1998)

情報検索
(Z39.50) 応用サービス定義
及びプロトコル仕様

正 誤 票

区分	位 置	誤	正
本体	表 7 “機密保護確認応答”	“受信側要求欄” に○ “発信元応答欄” に－	“受信側要求欄” に－ “発信元応答欄” に○

平成 15 年 2 月 20 日作成

白 紙

情報検索
(Z39.50)応用サービス定義
及びプロトコル仕様

X 0806 : 1999

(ISO 23950 : 1998)

Information and documentation—Information retrieval (Z39.50)—
Application service definition and protocol specification

1. 序文 この規格は、1998年に発行されたISO 23950, Information and documentation—Information retrieval (Z39.50)—Application service definition and protocol specificationを翻訳し、技術的内容を変更することなく日本工業規格として採用するために作成されたものであり、1.～3.については、原国際規格の同項目を全文翻訳し、4.以降については、それぞれ原国際規格の同項目の内容を引用するものとした。

1.1 適用範囲 この規格は、情報検索応用サービスを示し(3.参照)、情報検索応用のプロトコルを規定する(4.参照)。サービス定義は、応用の中で実現されるサービスを示し、そのサービスは、Z39.50プロトコルの中で順次仕様化される。この規格は、計算機システムでの実装を指定したり束縛したりするものではない。プロトコル仕様は、プロトコル制御情報の定義、この情報を交換するための規則及びこのプロトコルの実装が満たすべき適合要件を含む。

この規格は、情報検索サービスを実現するシステムのため、また情報サービス機関、大学、図書館及び総合目録センターなどの機関のためのものとする。これは、また、接続指向型のプログラム—プログラム通信向けのものとする。端末、その他の物理的媒体による情報交換向きのものとはしない。

1.2 版 これまでにZ39.50には、1988年版、1992年版及び1995年版の三つの出版物がある。また、探索及び検索プロトコルには、ISO 10163-1 : 1993がある。ANSI/NISO Z 39.50-1992, ISO 10163-1 : 1993及びANSI/NISO Z 39.50-1995の三つの出版物は、プロトコルの版の概念を取り入れており、第1版、第2版及び第3版の三つのプロトコルの版が、規定されている。ISO 10163-1 : 1993はプロトコル第1版に、ANSI/NISO Z 39.50-1992はプロトコル第2版に、ANSI/NISO Z 39.50-1995はプロトコル第2版及びプロトコル第3版の双方に、それぞれ基づいている(ANSI/NISO Z 39.50-1988に関してはプロトコルの版はない。)

この規格は、第2版及び第3版に基づいている。この規格は第1版と第2版とは同一であることを仮定する。したがって、第1版に対応している実装は、自動的に第2版にも対応していることとなる(これ以外、この規格の他の場所では、明示的に第1版に言及していない。)。この規格中の手続で、第2版又は第3版だけに適用されるものは、その旨記載してある。

1.3 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

ANSI/NISO Z 39. 53-1994 Codes for the Representation of Languages for Information Interchange

ANSI/NISO Z 39. 58-1992 Common Command Language for Online Interactive Information Retrieval

ISO 2709 : 1981 Documentation—Format for Bibliographic Information Interchange on Magnetic Tape

ISO 4217 : 1990 Codes for the representation of currencies and funds

JIS X 5003 : 1987 開放型システム間相互接続の基本参照モデル。

備考 ISO 7498 : 1984, Information Processing Systems—Open Systems Interconnection—Basic Reference Model
が、この規格と一致している。

JIS X 5701 : 1991 開放型システム間相互接続—アソシエーション制御サービス要素のサービス定義